



子どもの居場所づくり（1） 夏休みの学習支援・遊び場支援

7月23日から27日の5日間にかけて、YMCAセンターすぐ近くの立町復興ふれあい商店街集会所にて、夏休み子ども居場所づくりプログラム（立町いしのまきっこ広場）が催されました。このプログラムは日本基督教団東北教区被災者支援センター・エマオ石巻と協同で行われました。YMCAは子どもプログラムでのリードを期待され、社生数名をボランティアとして派遣しました。

ボランティアは、子どもたちが持参した夏休みの宿題を手伝い、その後は遊びレクリエーション（外遊び、工作など）を行いました。一日の終りには、1メートル以上ある大きな紙に、絵の具で思い思いの夏休みらしい絵を思いっきり書きました。

プログラムには市内の6つの小学校から、のべ200人の子供が参加しました。参加者の半分以上は、YMCAが継続して支援活動を行なっている石巻小学校の児童であり、子どもはプールでもここでもYMCAに会えるということで、すっかりボランティアと打ち解けて思いっきり一緒に遊びました。



上：勉強のじかん（7月24日）

一方で、いくつかの小学校では今夏もプールが全く使えなく、子どもの夏休みの遊び場が無い状態だったので、このような大人数で遊べる場はととても有難いと、多くの保護者が口を揃えていました。

また、この週は石巻市内の小学校の夏休みの最初の週でした。この時期に学習支援を行うことは、子どもの夏休み中の学習習慣作りになるから有難いとの声も多く寄せられました。1年生の子どもの割合が多かったのも、そのせいかもしれません。

参加者の中には、家を失い仮設住宅に移った子どもも少なくありません。仮設では、広くても茶の間は6畳の広さしか無い所が殆どです。当然、子どもの学習机を置くスペースはありません。学校が長期休みになると、学習環境が無くなってしまふので、地域社会が子どもの居場所を支える必要があります。

家に帰れば過酷な現実が待っている子どもも少なくありません。そんな子どもたちにとって、思いっきり相手をしてくれる青年がいるこの場所は、日頃我慢していた様々な事を発散するよき居場所になったのではないかと思います。

※当活動は7月27日付河北新報・石巻がほく版の一面に掲載されました。



上：大きなキャンパスにお絵かき（7月26日）

下：外遊びではYMCAが用意したダンボール滑りが大好評（7月23日）



東日本大震災救援復興募金

・ゆうちょ銀行（郵便振替）

振替口座：00120-7-714728

名義：公益財団法人 東京YMCA

・銀行振り込み

みずほ銀行 神田支店 普通 1677931

三井住友銀行神田支店 普通 7656469

名義：公益財団法人 東京YMCA

※「東日本震災」とお書き添えください。